

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業【コミュニティセンターとの連携事業】  
「絵手紙教室～絵手紙で春を送りましょう！～」を開催しました。

平成27年3月13日（金）、『絵手紙花の会』に所属し、川添や四番丁コミュニティセンター等で講師としてご活躍中の谷澤倫子さんを講師にお迎えし、楽しい絵手紙の描き方についてご指導いただきました。

講座テーマは「絵手紙で春を送りましょう！」ということで、画材として春らしい色とりどりのチューリップと色鮮やかな苺が、各テーブルに用意されました。

受講生の中には初心者の方もいらっしゃいましたが、基本的な筆の持ち方・姿勢、筆や墨の使い方、線の描き方、彩色の方法など、谷澤さんのわかりやすく丁寧な説明を聞きながら、画材に取り組みました。



<絵手紙作成のポイント>

- ・筆はできるだけ先端を持ち、まっすぐに親指と人差し指でしっかり支えること
- ・背筋を伸ばし、筆を持つ手の脇をしっかり開くこと
- ・筆は全体をおろして、たっぷりと墨を含ませた後、適量に調整し1回で描き切ること
- ・肩の力を抜いて、筆はゆったりと、できるだけゆっくり描くこと
- ・画材を大きくとらえ、のびやかに描くこと
- ・顔彩は何色も混ぜずに、単色を水で調整し、濃淡で彩色して透明感を生かすこと
- ・自分の気持ちを表す文章やメッセージを書くこと



受講生の皆さんは、谷澤さんから具体的なアドバイスを受けながら、思い思いに様々な線で、鮮やかなチューリップやみずみずしい苺を用紙いっぱい描き、春を呼ぶメッセージを書いて、絵手紙の魅力を満喫しました。

出来上がった作品には、谷澤さんからそれぞれ丁寧な講評があり、今後の作品作りの参考にしようとのみなさんは熱心に耳を傾けていました。

受け取った人が笑顔になる、個性豊かな「春を告げる絵手紙」作品が完成し、とても楽しく有意義な講座となりました。